「ブレードランナー」「トータル・リコール」の
原作：フィリップ・K・ディック

「エイリアン」の
脚本：ダン・オバノン

「ロボコップ」「裸のランチ」の
主演：ピーター・ウェラー

スクリーマーズ

トライアンフ・フィルムズ プレゼンツ 共同提携フジクリエイティブコーポレーション and フリーズ・フィルム・カンパニー アレグロ・フィルムズ・プロダクション クリスチャン・デュゲイ監督作品
"SCREAMERS" ピーター・ウェラー ロイ・チュプス ジェニファー・ルーピン and アンディー・ラウアー 撮影監督：ロドニー・ギボンズ プロダクション・デザイナー：ベリ・ゴラーラ 編集：イヴ・ラングロワ
音楽：ノーマント・コーベイル 共同製作総指揮：ジョゼ・ベルナール マサオ・タキヤマ スーパーヴァイジング・プロデューサー：アントニー I.ギナン 製作総指揮：チャールズ W.フリーズ
脚本：ダン・オバノン and ミケル・テファダ＝フロレス 原作小説"SECOND VARIETY" フィリップ K.ディック 製作：トム・ペリー and フランコ・バティスタ 監督：クリスチャン・デュゲイ
共同提供：松竹、フジクリエイティブコーポレーション、K.Dエンタテインメント、メディア リング
DOLBY SR
原作小説：ハヤカワ文庫SF ちくま文庫
配給：松竹富士株式会社

©MCMXCVIII Canada Inc.
ALL RIGHTS RESERVED

人間になりすましているのは誰だ——。

世紀末を迎えて、世界は見えない恐怖にみち溢れている。現実は予期せぬ出来事によって揺らぎ、その後には混沌と恐怖だけが残るだろう。「スクリーマーズ」はそんな世紀末にむけて発信されたメッセージだ。

舞台は、近未来。“スクリーマーズ”とは、もともと人類が防御用に開発した兵器にすぎなかったのだが、これに自己修復機能を与えたのが、大きな間違いだった。所在不明の管理工場で製造される“スクリーマーズ”たちは、急速に進化を開始、今や人間の姿までたどりつこうとしていた。だが、この兵器にプログラムされていたのは生きるもの全てを破壊することのみ。誰が人間で、誰が人間になりすましているのか。信じられるものは何もない極限状況で、人類と自ら造りだした“スクリーマーズ”の闘いが始まった！

フィリップ・K・ディックからの近未来メッセージ！

物語を創りだしたのはフィリップ・K・ディック。特異なビジョンで〈未来世界の幻視者〉と呼ばれる彼は、「ブレードランナー」「トータル・リコール」の原作者として映画ファンにも知れわたっている。「誰が人間で、誰が人間になりすましているのか」、この作品はディック最大のテーマを見事に映像化している。

脚色は究極のSFホラー「エイリアン」の脚本家ダン・オバノンが担当。ディック＋オバノン＝SF界最強のタッグは、「ロボコップ」「裸のランチ」のピーター・ウェラーを主演に一瞬先の物語でさえ予想することが不可能なSFサイコロジカル・サスペンスの傑作を完成させた。

SCREAMERS

連続する緊張感。最高の近未来スリラー！
（バラエティ誌）

物語は力強く、映像は第一級。
この映画は大成功をおさめるだろう。
（スクリーン・インターナショナル誌）

新鮮な驚きとサスペンスに満ちている。
「ブレードランナー」を超えるディックの近未来の恐怖！
（漫画家・永井豪氏）

〈1996年・カナダ・アメリカ・日本合作　1時間48分〉

11月下旬ロードショー

お得な特別ご鑑賞券、絶賛前売中！ 一般￥1,500/学生￥1,300
（当日一般￥1,800／大・高生￥1,500のところ）

有楽町マリオン9F	新宿東口・紀伊國屋ビルうら	歌舞伎町・コマ劇場前広場	公園通り・ヒューマックスパビリオン4F	伊勢佐木町・2丁目交差点
丸の内ピカデリー2	新宿ピカデリー2	新宿ジョイシネマ2	渋谷ジョイシネマ	横浜セントラル
03(3201)2881	03(3352)4043	03(3209)6180	03(3462)2539	045(261)2790